



城島中だより

～「仲間とともに、命を大切に、授業を大切に」が見える学校をめざして～



校長 津留崎 秀明

※個人情報 報保護の観点から、生徒名については姓のみの掲載としています。

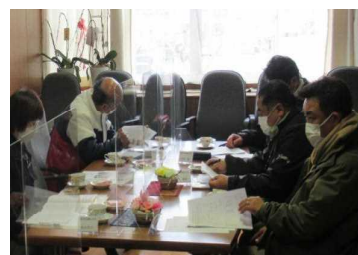
自分でつくる弁当の日

2月2日（木）、第2回「自分でつくる弁当の日」を実施しました。21年前に香川県の小学校で始まった取組が、現在では全国約2,000校に広がっています。本校生徒たちは、家庭への感謝の心と、成功しても失敗しても多くのことを学び、生きる力を身に付けています。



地域学校協議会による関係者評価

2月24日（金）、本年度最後の第3回地域学校協議会を開催いたしました。授業参観を通して、学校の様子を確認すると共に、学校の自己評価を元にした関係者評価としてご意見をいただきました。地域に信頼される学校づくりのための提言として、評価結果は、次年度へ反映させていただきます。



1・2年授業参観、学級懇談会

2月27日（月）、本年度最後の1・2年授業参観、学級懇談会を実施しました。たくさんの保護者の皆様の参加と、新型コロナウイルス感染防止対策へのご協力に感謝いたします。また、PTA学年委員のみなさま受付ありがとうございました。



1・2年校内弁論大会

3月7日（火）、1・2年生は学習委員会の進行の下、校内弁論大会を行いました。事前の学級弁論大会で選ばれた8名の学級代表が命の尊さや仲間の大切さ等について自分の考えを主張してくれました。主張者の手の震えさえ見落とさず、全てを受けとめる聞く側の生徒。聞く側がしっかり受けとめてくれる様子を見て、信頼し自分の考えを発言することができる。そんな関係が、学級でも校内でも出来ている本校の弁論大会です。



6月7日（水）の久留米市青少年弁論大会の本校代表に2-1 さん(写真)が選出されました。

1-1	さん	殺処分前の動物を救おう：優良賞	2-1	さん	生きているから	：最優秀賞	
1-2	さん	友だちがいてくれたから：優良賞	2-2	さん	弁論は必要なのか	：優良賞	
1-2	さん	わたしの努力	：優良賞	2-3	さん	AIと生きるには	：優良賞
2-1	さん	仲間のために	：優良賞	2-3	さん	大切な時間とは	：優秀賞

卒業証書授与式～87名が巣立ちました～

3月10日（金）、第73回卒業証書授与式を挙行政いたしました。感染防止対策のため全市の参加人数や時間短縮等の制限はありましたが、今回より千代島PTA会長をはじめ来賓の皆様にも参列していただいています。式辞の中では、卒業生に詩人坂村真民さんの詩「本気になると世界は変わってくる」を贈っています。（PTA新聞参照）前生徒



会長3-1 さんが答辞の中で、友人との思い出や家族への感謝にふれると言葉につまり、私も思わず目頭が熱くなりました。式の最後に「人生の全てに意味があるから、恐れずにあなたの夢を育てて」と卒業の歌アンジェラ・アキさんの「手紙～拝啓十五の君へ～」を歌い上げ、担任による最後の学級活動終了後、87名の卒業生が志学門から巣立ちました。

1年生美術館見学

3月17日（金）午後、1年生は久留米市美術館（旧石橋美術館）において美術館見学を行いました。生徒たちは、公共の場でのマナーをしっかりと守り、ボランティアの方の話と作品鑑賞に集中していました。



修了式・離任式

3月24日（金）、令和4年度の修了式・離任式を終えました。修了式では、各学級代表が学級目標に対する一年間の取組の報告を行いました。成果と課題をもとに、次年度の準備を進めて欲しいと思います。その後の離任式では、お世話になった7名とのお別れ。先生方も生徒も、思いの込もった離任式でした。



（転出先は4月1日の新聞と4月最初の学校だよりでのお知らせとなります。）

令和5年度始業式・赴任式は、4月6日（木）となっています。右より 離任式 教頭先生・先生・先生・先生・先生・先生の7名

城島中生徒の活躍をお知らせします。

久留米市学校給食に関する標語 優秀賞 2-1 さん

ジュニア青木繁展 筑後信用金庫賞 1-1 さん

奨励賞 1-1 さん

筑後地区新年揮毫会 天賞 1-1 さん, 1-2 さん, 3-1 さん・ さん, 3-3 さん



廊下に展示された作品

地賞 2-2 さん, 3-1 さん

人賞 1-1 さん, 1-2 さん, 2-1 さん, 2-2 さん

3-2 さん・ さん・ さん・ さん・ さん, 3-3 さん

秀逸 1-1 さん・ さん・ さん・ さん, 2-1 さん・ さん

2-2 さん・ さん, 2-3 さん・ さん, 3-2 さん

入選 1-1 さん, 1-2 さん・ さん・ さん, 2-3 さん・ さん

3-1 さん, 3-3 さん・ さん

春期休業中に悩み事等がある場合は、学校や相談窓口へ

全国的に長期休業が明け、次の学期が近づくと学校に行くの嫌だなど悩んだり、助けて欲しいSOSのサインを出したりする児童生徒が多く見られるようです。

保護者の皆様におかれましては、お子様に悩み事などの心配なサインがでているとき、学校にご相談ください。お子様がSOSを出すのではなく、お子様が友人からSOSの相談をされるときもあります。相談されたとき、どうすればよいのか、あらかじめ家庭で話しておくことも大切です。

その際、相談された内容を親や先生など信頼できる大人に伝えることや、悩みがある場合は以下の相談窓口も利用できることをご家庭でもお話しください。

- 子どもホットライン24 0942-32-3000(毎日：24時間) e-mail:hotline24@pref.fukuoka.lg.jp
- 24時間子供SOSダイヤル 0120-0-78310(毎日：24時間)
- 児童生徒の悩み相談窓口 ※右のQRコードから友だち登録→窓口メッセージ相談時間に返信が来る(祝日、年末年始と土曜日を除く毎日：18:00～20:30の受付)
- ネットトラブル相談窓口 0120-494-100(祝日、年末年始と土・日曜日を除く毎日：18:00～21:00の受付)



1年間、本校教育活動へのご理解とご協力ありがとうございました。

令和4年度 地域学校協議会による関係者評価結果

	成果指標	【総合評価】[項目評価結果]	地域学校協議会による主な提言
学びをつなぐ授業	①生徒による授業評価「まとめを自分の言葉で書くことができる」3.5以上(4段階評定尺度) ②Chromebookを「1日3回以上使っている」と答える生徒の割合が80%以上	【3】概ね達成できた ①[3]概ね達成できた (根拠:生徒授業アンケート) 3.6_4段階評定の平均 ②[2]不十分だった (根拠:生徒授業アンケート) 1日に3回以上(29%),1日に1~2回50%	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉を知らないとまとめることが困難になる。語彙力を上げる事をお願いしたい。 ・Chromebookの活用目的を理解し、有効に活用してほしい。何でも頼るのはどうかと思う。 ・学校、学ぶことの目標をきちんと持たせて欲しい。
楽しい学校	①不登校生徒数が前年度を下回る ②いじめ(生活)アンケートの担任・副任・管理職の3重チェック(100%)	【2】不十分だった ①[2]不十分だった (根拠:昨年度と同数) ②[3]概ね達成できた (根拠:点検データ)	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校は、中学校以前から課題であり、エネルギーを与えることが大切で、数値的改善だけに囚われて欲しくない。 ・アンケートだけでなく、日々の生徒たちの生活や態度からのサインを見落とさないようにして欲しい。
笑顔の先生	①思考力を問う問題の出題率100% ②教職員評価「まとめを書かせる手立てがあったか」3.5以上(4段階評定尺度) ③提案資料の事前提出率100% ④「先生は自分の良さを認めてくれる」と答える生徒の割合80%以上	【3】概ね達成できた ①[2]不十分だった (根拠:定期考査問題) ②[2]不十分だった (根拠:教職員アンケート) ③[4]十分達成できた (根拠:運営委員会提出状況) ④[4]十分達成できた (根拠:生徒生活アンケート) 94.7%_4段階評定のうち、4と3の占める割合	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の底上げに試行錯誤しておられると思います。生徒の「やる気スイッチ」を入れること大切にして欲しい。 ・校務のスリム化、効率化に賛成です。先生に余裕がなければ笑顔になれず、生徒の良い所も見つけることができないからです。 ・先生が本来の学校の業務だけに専念できるような教育委員会の取組等の環境づくりが必要である。
協働する学校・家庭・地域	①家庭学習1時間以上の割合を各学年5ポイント上げる 2年生:80.4%→85.4% 3年生:63.6%→68.6% ②平日のゲーム時間1時間以上を各学年5ポイント下げる 2年生:76.1%→71.1% 3年生:76.5%→71.5% ③小中合同研修会の実施→年2回実施	【3】概ね達成できた ①[3]概ね達成できた (根拠:生徒生活アンケート) 2年生:84.8% 3年生:81.0% ②[2]不十分だった (根拠:生徒生活アンケート) 2年生:80.2% 3年生:77.2% ③[4]十分達成できた (根拠:学園コミュニティ全体研修会2回実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭(親)の取組が重要であることを、まず親が認識しなければならない。 ・PTAとしても、もっと親子でアウトメディア活動の取組を盛んにしていきたい。 ・将来のビジョン・目標を生徒に持たせることが大切。そのためにも、色々な進学先や職種があることを知らせて欲しい。 ・歴史系のゲームなど学習系のゲームを取り入れたらいいかがか。 ・小中連携を積極的にお願したい。